



開成町立開成幼稚園

にじいろ通信

第1号

発行日：令和8年6月1日

発行者：園長 田中 栄之

新年度が始まって2か月

新しい環境になって、まもなく2か月。子どもたちの「今」の様子をお届けします。

【年長・年中さん】

新しいクラス、新しい先生にもすっかり



馴染みました。「今日はね！」と朝から元気いっぱいに登園し、お友達とアイデアを出し

合いながら、毎日ダイナミックに遊んでいます。

【年少さん】

4月の頃は、お家の方と離れるのが寂しくて、涙がポロポロこぼれてしまう子もいました。幼稚園という新しい世界に、小さな胸をときめかせ、時には不安と戦っていたのですね。



それが今では、先生やお友達に囲まれて、たくさんの可愛い笑顔を見せてくれるようになりました。

季節は少しずつ夏へと向かっています。子どもたちの健康と安全を第一に、楽しい思い出をたくさん作っていきたいと思います。

引き続き、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

雨が降って残念だったけど…

5月21日(木)、年長・れんげ組とさくら組のみんながずっと楽しみにしていた、中井中央公園への園外保育。しかし、天気予報はあいにくの強い雨……。安全を第一に考え、前日に延期を決定しました。

「公園に行けないの?」と、少しがっかりして寂しそうな表情を浮かべていた子どもたち。

でも、そんな曇り空を吹き飛ばすほどの笑顔が遊戯室に広がりました!

みんなで集まって全力でゲームを楽しみ、遊戯室は一気に大盛り上がり。体をたくさん動かした後は、待ちに待ったお弁当の時間です。

レジャーシートを広げると、そこはもう立派なピクニック会場。「見て見て!ぼくのお弁当、大好きなウインナーが入ってるよ」「わたしのデザート、イチゴだよ」と、お互いのお弁当を嬉しそうに見せ合いっこする声があちこちから賑やかに聞こえてきました。



外は雨模様でしたが、子どもたちのきらきらした笑顔と弾む声で、お部屋の中はぽかぽかと晴れ渡るような、特別な一日になりました。

親子で一緒に♪

5月22日(金)、年中・きりん組とうさぎ組のミニ懇談会を開催しました。

各クラスの担任より、これまでの子どもたちの園での様子や、今後の予定などについてお伝えさせていただきました。

懇談会の後はどんぐり会館へ場所を移し、親子で音楽を楽しむ時間を過ごしました。

講師にお迎えしたのは、南足柄市でジュニア・コーラスの代表として子どもたちに合唱指導をされている原亜紀子先生です。



音楽に合わせて体を動かしたり、元気いっぱいに歌ったりと、短い時間ではありましたが、会場は親子の笑顔と歓声でいっぱい！同じ学年の親子で一緒にふれあい、絆を深め合える、とても素敵で心温まるひと時となりました。

給食おいしいね

年少のいちご組・ぶどう組・みかん組の小さな子どもたち。最近の給食の時間には、たくさんの笑顔があふれるようになってきました。

「みんなで同じ場所に集まって、同じ時間に、同じごはんを『おいしいね』と分け合うこと」そんな温かい時間の心地よさや大切さを、子どもたちは日々のなかで体いっぱいを感じ取っているようです。

大きな口でモグモグと食べてみせてくれる姿は、見ているだけで心がほっこり温まるほど微笑ましい光景です。



園での給食は、重要な「食育」の場です。栄養バランスの取れた食事で健やかな体を育むと同時に、正しい食事マナーや、食材・作ってくれた人への感謝の心を身につけます。

同じメニューをみんなで囲む温かい時間が、子どもたちの社会性と協調性を育み、生きる力の土台を作ります。

にじいろノート

園内には、いつも子どもたちの健やかな歌声が響き渡っています。中でも、私の心をとらえて離さないのが『にじのむこうに』です。
「あめがあがったよ おひさまがでてきたよ」その澄んだフレーズが聞こえてくると、まるで心の中の雨雲まで晴れ渡っていくようです。

これからはじまる何かに胸を膨らませていた、あの頃のような純粹なワクワク感が、いつも私を満たしてくれます。

この歌は、雨のあとには明るい空が待っていることを、子どもたちに優しく伝えてくれる歌です。

子どもたちも毎日の中で、泣いたり悩んだり、思うようにいかなかったりすることがあります。でも、その時間を乗り越えた先には、きつと笑顔や成長があります。

大人にできることは、急がせることではなく、子どもを信じて見守ることなのかもしれません。

雨のあとに虹が出るように、子どもたちの毎日にも、たくさんの希望が広がっていくことを願っています。